



HATURATU はつらつ

ヒマラヤ山脈のふもとにある、ほくらの国はブータン王国。週末に開かれる首都ティンブーの青空市場は、新鮮な野菜や果物が山積みされ、とっくにぎわうんだ。

ほくらにも、かっこうの遊び場。ふだんは仲良しの親友と、つい言い合いになってケンカになっちゃった。一回、二回は手を出したけど、ケガさせるほどではないので、まわりの大人は知らんぷり。服をつかんで30分にらみあったら、ちょっと疲れちゃったよ。

(写真・文 平早 勉)

10代前半の子どもたちのための“遊びのクラブ”

〈あそび〉をつくり、みんなで楽しむ

【こどもの城】には「ユースクラブ」という10代前半の子どもたち(小5~中3)を対象にした〈あそび〉のクラブがあります。スタッフが用意した遊びを楽しむこともありますが、中心となるのは、仲間と話し合って〈あそび〉を考えだし、いっしょになって遊ぶこと。自分たちがチャレンジしてみたい〈あそび〉をみんなで作りあげます。どのような遊びがいいか、どのように力をあわせるかなど——考えなければならないこと、乗り越えなければならないことはたくさんありますが、なしとげたときの子どもたちの表情は、自信に満ちています。

ユースクラブ



まず、さまざまな〈あそび〉体験

ユースクラブでは、まず最初にいろいろな種類の遊びを体験することから始まります。「遊びの体験が少ないせいか、どんな活動をしようか?」とはたきかけても、うまく遊べないことが多いようです。いろいろな遊びを体験していくなかで、こんな遊びをしてみたいという気持ちを育て、仲間と呼びかけて遊びを作っていく——をめざして、スタッフ(職員とボランティア)が子どもたちの手助けをしています」とスタッフ。

興味があれば子どもたちだけでできる遊び、大人の手を借りて初めて実現できる大がかりな“夢”

のような遊び——いろいろな遊びがあります。ケースごとにスタッフが行う手助けの内容は異なります。スタッフが毎回話し合いを行い、子どもたちに最良の方法を考えて指導にあたっています。子どもたち自身が“夢”を育て、実現できるように大人がサポートしています。

自分たちの力で考え、〈あそび〉を作る

さまざまな〈あそび〉を経験し、メンバー間で気軽に話し合えるようになってくると、自分たちの力で〈あそび〉を考えます。作るおもしろさ、作ったもので遊ぶ楽しさ——それぞれの考えを仲間に伝えて、仲間の意見を聞いてまとめていきます。“一人でも納得できない人がいたら、やらない”が合言葉。

「意見がまとまるまで時間がかかることもありますが、いろいろな考え方の人が集まって、話し合い、意見を調整していくプロセス——産みの苦しみを大事にし、自由に話ができる人間関係を作っていくと考えています。子どもたちの思いや発想を大切にしながら、経験が限られている子どもたちに適切な情報を提供する(こういうのも考えられるよ、こんな方法もあるよ、など)ようにしています。押しつけにならないように気をつけています」とスタッフも話しています。



「こんどは、何をしようか?」とみんなで相談。



街を観察しながら遊ぶこともあります(左)。サバイバルクッキングでオリジナルの「七草がゆ」を作りました(上)。

生き方や知恵を自然に身につける

子どもは、本来〈あそび〉の中から“人間(大人)”になるための、さまざまな知恵や力を身につけていきます。みんなのお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんが子どものころには、年上や年下の子どもたちといっしょに遊んだり、生き物や草木などの自然、そして仲間である子どもたち(人)とふれあうことで、いろいろな体験を積み重ねて成長してきました。〈あそび〉をとおして自然に生き方や知恵を身につけていたのです。

そのころは、おもちゃや遊び道具なども少なく、身近にあるものを利用したり、小

さい子のための特別ルールがあったり、それぞれに工夫して〈あそび〉を作っていました。

最近の〈あそび〉といえば、テーマパークにできる、コンピュータゲームをする——というように“あたえられる遊び”が多くなってきました。自分たちで考え、工夫して遊ぶことが少なくなったような気がします。野球やサッカーも地域のチームに入って、スポーツとして本格的に楽しむことが多くなり、小さい子がいるときの特別ルールや狭い場所での三角ベースのような“野球遊び”が見られなくなりました。

ユースクラブは、子どもたち自身が〈あそび〉を考え、作り、そして楽しむ活動をしています。

“夢”を“かたち”に——総決算の〈あそび〉企画

毎年3月には、1年間の総決算として大がかりな遊びを企画。メンバーがはぐくんできた“夢”を“かたち”にして、【こどもの城】に遊びに来た子どもたちといっしょに遊びます。これまでに、メンバー全員が入れる大きなビニールドーム、段ボールで作った家、巨大迷路やすごろく、ビデオなど、子どもたちの夢を実現させてきました。



巨大なすごろくを作って、遊びました。

「自分たちのやりたいもの——夢を実現させたという満足感で、子どもたちは自信をつけ成長していきます。遊ばせてもらうという受け身のかたちではなく、〈あそび〉を作って自分たちで楽しんだり、ほかの子どもたちに遊んでもらうという能動的な体験で、子どもたちは大きく成長するのです」とスタッフ。

今年の3月には、ユースクラブの紹介をかねた巨大なすごろくを作りました。土曜日の午後に集合して準備開始。閉館後にすごろくコースを床にはり、まわりを飾りつけ。ゲームのシミュレーションをして作業終了。館内に泊り込んで、翌日曜日は開館と同時にスタート。受け付け、宣伝、ゲーム担当——それぞれの役割を決めて店開き。“わたしたちが作った遊び”とあって、ゲームの説明にも力が入ります。子どもたちの顔は、いつになく輝いていました。

仲間といっしょに楽しむことで、自分を見つけてくれれば…… スタッフの話

これが〈あそび〉だ、という固定した考え方はしていません。仲間といっしょに〈あそび〉を作り、楽しむことで、自分を見つけていければと思っています。体を動かすことが好きな子どももいれば、ものを作るのが好きな子どももいます。いろいろな意見をまとめるのが得意な子どももいれば、冷静にものごとをみていて見過ごされていたポイントを指摘してくれる子どももいます。目立つことが好きな子どももいれば、コツコツと裏方の仕事をしてくれる子どももいます——いろいろな個性の子どもが集まって、それぞれが自分のできることを精一杯することで、ユースクラブの活動ができあがっています。

〈あそび〉をとおして、子どもたちが自分に素直にいられる場所——そんなユースクラブをめざしています。

スキマン Vol.2
スキマンのルーツの巻

はーい!ボクはスキマン。今、生まれ故郷ニュージーランドへ里帰りしてるんだ。

緑がいっぱいー

わーなつかしいー

おいしい空気

おっ、お母さんだー

みんなー メシだぞー

「スキムミルク」はニュージーランドから輸入しています。

スキムミルク(22g、牛乳1本分相当)と牛乳(200g、1本)の成分比較	たんぱく質	脂質	カルシウム	ビタミンB2
スキムミルク	8.1g	2.6g	286mg	0.62mg
牛乳	5.8g	6.4g	200mg	0.3mg

お問い合わせ先 TEL03-3591-3245
財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX03-3595-2216

夏のキャンプ参加者募集!!

仲間と遊ぼう! 自然と遊ぼう!

参加申し込みは
03-3797-5675へ
おかけ間違いのないよう
ご注意ください。

【こどもの城】では、大自然の中で行うプログラムも子どもたちにとってかけがえのない活動だと考え、大切にしてきました。今年の夏も、対象年齢や活動内容もさまざまなキャンプを計画。山登り、川遊び、野外炊事、スポーツやハンドクラフト—キャンプではたくさんのプログラムを楽しむことができます。新しい友だちと出会い、大自然の中でともに作り上げるキャンプの生活は、子どもたちに大きな力と自信をはぐんでくれるとおもいます。

今年の夏休みにもたくさんのキャンプを計画しました。それぞれの参加申し込みは、受け付け開始日の正午から電話で先着順に受け付けます。なお、活動内容の詳細は、担当部門にお問い合わせください。

ちびっこ冒険団
5月23日受け付け開始 プレイ事業部(☎03-3797-5661)

ワクワクする冒険ハイキングやドキドキの野外炊事など、さまざまな野外プログラムを楽しめます。新しい仲間と力を合わせて作り上げるキャンプ生活で、かけがえのない友情と大きな自信をはぐくみます。

■日程=7月27~30日(3泊4日) / 場所=国立那須甲子少年自然の家(宿舍泊・給食) / 対象=小1~3 / 定員=70人 / 参加費=38,000円

チャレンジキャンプ
6月6日受け付け開始 体育事業部(☎03-3797-5660)

湖畔でのウォーターゲームやナイトプログラム。チャレンジプログラムでは、ヘトヘトになるけど、なしげたときの達成感・達成感、すばらしい思い出に。いろいろなものにチャレンジしていくキャンプです。

■日程=8月27~30日(3泊4日) / 場所=東京YMCA山中湖センター(宿舍泊・給食) / 対象=小1~3 / 定員=45人 / 参加費=47,000円

フェロージャビィキャンプ
5月30日受け付け開始 プレイ事業部(☎03-3797-5661)

野外炊事やハイキング、オーバーナイトキャンプ—大自然の中でさまざまなプログラムを体験。6~7人のグループ

に分かれ、担当のボランティアリーダーと一緒に、力を合わせてキャンプ生活を作り上げます。

■日程=8月4~8日(4泊5日) / 場所=国立那須甲子少年自然の家(テント泊・自炊) / 対象=小4~6 / 定員=40人 / 参加費=45,000円

ジュニア・アウトドア・スクール
6月5日受け付け開始 企画研修部(☎03-3797-5675)

異年齢の仲間とともに、自分たちの力で生活を築いていくキャンプ。グループごとのさまざまな“アクティビティ”をとおし、生きていくことの喜び、友だちの大切さ、自然の美しさに気づいていきます。

■日程=8月2~8日(6泊7日) / 場所=国立南蔵王青少年野営場(テント泊・自炊) / 対象=小4~中3 / 定員=70人 / 参加費=55,000円

スポーツキャンプ
5月29日受け付け開始 体育事業部(☎03-3797-5660)

広い芝生の上やテニスコートで、思う存分さまざまなスポーツを楽しめます。全力を出した爽快感、充実感を体験。自分の体の感覚やバランスを感じながら、体力的にも精神的にも大きくなることをめざします。

■日程=7月28~31日(3泊4日) / 場所=グリーンピア津南(宿舍泊・給食) / 対象=小3~中3 / 定員=30人 / 参加費=48,000円(小学生)、52,000円(中学生)

土曜日の小・中学生向けプログラム

じっくり遊んで—多彩な“体験”プログラム

学校週5日制(週休2日)のスタートに合わせて、【こどもの城】では、〈あそび〉をとおしてさまざまな体験をしてもらおうと、特別期間を除く毎週土曜日に小・中学生向けのプログラムを増やしました。

4月13日には、「ビッグサタデー~サッカー」(体育室)、「サタデーラボラトリー~アニメをつくらう」(Bスタジオ)、「造形実験室~ファンクラート」(造形スタジオ)、「フレンドシップカード作り」(パソコンルーム)などが行われました。

プログラムの内容もスポーツからビデオやパソコンなどの電子機器を使うものまで幅広く、また子どもだけで参加するもの、親子で参加するものなどバリエーションに富んだラインナップ。それぞれの興味・関心にあ

わせて楽しんでいきました。

5・6月の土曜日の小・中学生向けプログラムは下記のとおり(予定)。

- サタデーラボラトリー (1時~4時 / 小学生以上 / フリーホール)
5月18日=クイズ100問答えてラリー / 5月25日=混(まぜ)虫工場 / 6月1日=砂糖大変身!! / 6月8日=アニメをつくらう / 6月15日=空飛ぶおもちゃ大集合
- ビッグサタデー (10時30分~11時45分 / 小4以上 / 体育室)
室内サッカーのゲーム
- 造形実験室 (開館時間中 / 小4以上 / 造形スタジオ)
「建築と造形」をテーマにした造形
- 高学年楽器体験コーナー (10時~3時30分 / 小4以上 / 音楽ロビー)
いろいろな楽器の演奏体験。
5月18日=ドラムセット / 5月25日=箏



ストーリーアニメ作り挑戦した「サタデーラボラトリー」(左)、足の裏を使ったボールコントロールの練習をしてからゲームを楽しむ「ビッグサタデー」(下)。



- 6月1・8日=ドラムセット / 6月15日=フルート、コレネットなどの管楽器
- パソコンルーム (開館時間中 / 小学生以上 / パソコンルーム)
5月11・18・25日=フレンドシップカード作り (6月のプログラムは未定)



しいTの高校生が企画・運営した遊びのコーナー「春だわッハッハッハ」が4月21日に開かれました。自分たちが中心になって行う初めてのプログラムなので、緊張したおもちゃでしたが、子どもたちも楽しんで遊んでいる様子を見て、ほっとした顔。子どもたちの笑顔をエネルギーにしてがんばっていました。

5・6月のBスタジオの催し

- 5月19日・6月9日 手作り楽器のワークショップ「フィルムケースの笛」
1時30分~2時30分、3時30分~4時30分
フィルムケースを使って2種類の「笛」を作ります。小学生1年生以上。定員30人。15分前から会場にて受け付けします。
- 5月26日・6月2日 不思議な映像実験室「絵がうごいて見えるおもちゃの展示とワークショップ」
11時~5時30分
映画やビデオのルーツである「絵がうごいて見えるおもちゃ(視覚玩具)」—ブラックスノスコップ、フリップブック、紙シネマ、ライトパノラマなど—の、さわって、見る展示と、3種類のワークショップを行います。ワークショップの内容と時間は以下のとおりです(時間内随時受け付け)。
★「ぼたばたアニメ」=11時30分~12時30分
★「フィルムに絵を描こう」=1時30分~2時30分
★「ソーマトロープ」=3時30分~4時30分

青山劇場

- 明治生命ミュージカル「アニー」
マ4月27日~5月19日マS席=7,800円、A席=5,800円(5月8・15日の社会演のみS席=5,800円、A席=4,800円)
(開) 03-3239-2727
- モーニング娘。のミュージカル「モーニング・タウン」
マ5月24日~6月23日マ指定席=12,000円 (開) 03-3796-9999
- チェンミン 劇LIVE2002
マ6月26日マS席=5,000円、A席=4,500円 (開) 03-3470-9999
- 少年隊PLAYZONE2002
マ7月14日~8月5日 (開) 0180-993-700 (テレドーム24時間音声サービス)

青山円形劇場

- 「ダウンタウン・フォーリーズ」
マ5月9~19日マアリーナ席=8,000円、S席=7,000円(当日7,500円)
(開) 03-3583-3951
- 「頑張り! 離婚と戦う人々」ハワイアンチャリティコンサート vol.8
マ5月20~26日マ6,000円 (開) 03-5478-0633
- AOYAMAダイナマイトパレエ劇2002
超[SUPER]パレエ「南総里見八犬伝」
マ6月7~9日マ5,500円(当日6,000円)
(開) 042-572-9029
- ラ ダンス コントラステ
第6回アトリエ公演「C」(C AU CUBE)
マ6月14~16日マ5,000円(セット券9,000円) (開) 03-3229-8576

「基礎編」年2回、「応用編」年3回(継続)の2コース

児童福祉施設などを行う子育て相談事業に対する期待と関心が高まっています。【こどもの城】では、保育関係者を対象にした「保育者が行う子育て相談研修会(基礎編)」|「同(応用編)」を行っています。講師は、山崎美貴子(明治学院大学)、山田美和子(元全国社会福祉協議会)の両氏。

「基礎編」は「児童福祉施設を行う子育て相談の基本と実践」をテーマに年2回開催(1回ずつの参加も可)。子育て相談をこれから始めようとしている人、始めたばかりの人、基本を学び直したいと考えている人などを対象とした初任者向けの研修会。

第1回は6月29日に「基本的な技法など」、第2回は10月26日で「他機関との連携など」を中心に取り上げます。時間はいずれも午後2時~5時。受講料は各5,000円。会場は【こどもの城】研修室。定員各130人(定員になりしだい締切り)。

「応用編」は、年3回の継続研修。「子育て相談事業のすすめ方~保育所や児童館が行う子育て相談とは何か~」をテーマに、参加者が担当した事例を具体的に検討しながら、相談のすすめ方を学ぶケーススタディを中心としたプログラム。参加者同士のディスカッションをとおり、各地の子育て支援事業の情報交換を行うなど、相談事業のリーダー養成もめざしています。

第1回は5月18日に開催します。第2回は11月30日、第3回は平成15年1月25日に開催する予定。時間はいずれも午後2時~8時。受講料30,000円。定員50人(定員にな

THANK YOU BROADWAY! ~WE LOVE N.Y.~ 青山劇場でチャリティコンサート開く

昨年9月11日の同時多発テロのため、ニューヨークを訪れる人が減り、ミュージカル・演劇のメッカであるブロードウェイも多大の影響をこう

こどもの城となかまたち

3回目をおかえる「全国児童館おりがみ作品展」が、10月下旬から11月上旬にかけて【こどもの城】で開催されます。児童館交流プログラムの一つとして平成12年度から行われているもので、児童館の活動の一環として制作した折り紙作品を一堂に集め展示するものです。【こどもの城】で展示したあとは、全国各地で巡回展示します。

今回のテーマは「私たちの街」。私たちが住んでいる街—ふだん何気なく暮らしている見慣れた街かもしませんが、改めて見つめなおしてみると、今まで気付かなかった「なにか」が見えてくるか

「私たちの街」をテーマに作品募集

もしれません。街の人たちの暮らしぶり、家並みや自然などの風景—それぞれの「私たちの街」があると思います。また、過去・現在・未来の時間を軸にして「私たちの街」を考えることもできるかもしれません。いろいろな角度から「私たちの街」を考えて、折り紙で表現して、児童館単位でご応募ください。

作品の大きさは、壁面作品(60cm×60cm)と立体作品(底面60cm×60cm・高さ50cm以内)の2タイプがあります。募集作品数は壁面・立体作品あわせて25点。

出品希望の児童館は、「児童館名/郵便番号・住所/電話番号/



6月12日に公開講座「みんな子育て」

「親の子離れと子の自立」考える

子育てを考える公開講座「みんな子育て」の平成14年度第1回の講座が、6月12日に【こどもの城】研修室で開かれます。テーマは「育つ力」を信じよう~親の子離れと子の自立。小児科医の荻野悟郎こどもの城小児保健部顧問が基調講演を行ったのち、参加したみなさんと一緒に「子育て中の親子の距離」について考えます。

参加費は無料。18歳以上ならどなたでも参加できます。定員は80人。5月10日から、電話、ファックス、E-mailで先着順に受け付けてい

ます。住所・氏名・年齢・電話番号・託児希望の有無(有料。申し込みは5月末日まで)をご記入ください。

お問い合わせ・申し込みは、企画研修部 ☎03-3797-5675 / ファックス03-3797-5676 / E-mail kikaku@kodomo-no-shiro.or.jp まで。

「よちよちクラブ」(1・2歳児親子対象)を毎月2回

1・2歳児の親子を対象に、保育のスタッフが中心となって手遊びやパネルシアターなどを親子で楽しんで、気軽に子育ての悩みや話をし

担当者名/立体・壁面の希望/日常活動としての折り紙プログラムの有無・内容)を記入のうえ、まずファックスでお申し込みください(6月1~30日)。応募多数の場合は抽選となります。その後、正式エントリーの用紙をお送りしますので、改めて手続きをしてください。

作品を飾りつけるベース(ふたをしてそのまま運搬できるようにしている)は【こどもの城】で用意します。正式エントリー受け付け後、7月中旬にベースをお送りします。夏休み期間中などを利用して制作して、10月中旬に【こどもの城】へお送りください。作品運搬の経費は【こどもの城】で負担しますが、作品制作のための経費(折り紙用紙など)は参加児童館の負担となります。

応募作品は返却しませんが、来年5月まで全国各地で巡回展を行います。巡回展開催を希望する児童館は、事務局までお問い合わせください。作品の運搬費用は【こどもの城】で負担します。

「全国児童館おりがみ作品展」についてのお問い合わせ、出品申し込みは下記まで。
企画研修部内「動くこどもの城事務局」☎03-3797-5675
FAX03-3797-5676

お問い合わせ・申し込みは、保育研究開発部 ☎03-3797-5669 へ。

お問い合わせ・申し込みは、保育研究開発部 ☎03-3797-5669 へ。

「マタニティコンサート」(7月7日)に妊婦さん家族ご招待

これからお母さんになる人たちに心地よい音楽でリラックスしてもらおうと、青山円形劇場で「こどもの城マタニティコンサート」が開かれます。7月7日午後3時開演。家の中に閉じこもりがちになる妊婦のみなさんに、たまには外にでかけてコンサートを楽しみ(でき

れれば夫婦で)、積極的に人生楽しんでほしい。そのことが生まれてくる赤ちゃんのためにもなるのではないかと、という思いを込めたコンサートです。

「マタニティコンサート」(7月7日)に妊婦さん家族ご招待

れれば夫婦で)、積極的に人生楽しんでほしい。そのことが生まれてくる赤ちゃんのためにもなるのではないかと、という思いを込めたコンサートです。

出演は、クラシックを中心に幅広い演奏活動をしているサックスの田中靖人さん、ピアノの白石光隆さん。息のあった心温まる演奏をお届けします。絵本の読み聞かせと音楽のアンサンブル、産科と小児科の医師によるメディカルトークのコーナーもあります。

「こどもの城マタニティコンサート」に、妊娠5~9か月の妊婦とその家族をご招待。官製はがきにて「妊婦の氏名/住所・電話番号/妊娠月数・ご希望のチケット枚数/同伴者氏名(続柄)・年齢)を記入のうえ、〒150-0001 渋谷区神宮前5-53-1「こどもの城 マタニティコンサートN係」へお送りください。6月18日消印有効。応募多数の場合は抽選。

お問い合わせは、小児保健部 ☎03-3797-5667 へ。

お問い合わせ・申し込みは、保育研究開発部 ☎03-3797-5669 へ。

お問い合わせ・申し込みは、保育研究開発部 ☎03-3797-5669 へ。



がはりました。

「キス・ミー・ケイト」「アニー」を襲取れ」「南太平洋」「エビータ」「レ・ミゼラブル」「ジギルとハイド」など、多くの人に愛されたミュージカル・ナンバーをかわるかわる歌いまして。フィナーレでは「勇気、喜び、希望をブロードウェイから、もらってきました。ショービジネスの世界で働く私たちも、世の中の人のために何かできないか、と思ってコンサートを開きました。今回の事件をきっかけに、劇場の灯をともし続けることの大切さを教わったような気がします」というメッセージに加え、ブロードウェイを題材とした名曲「ブロードウェイの子守歌」を全員で歌いました。

幕が上がると、ステージに出演者が勢ぞろい。一人ひとりがマイクを持って「同じように劇場を愛するものとして、何かできないか」「ブロードウェイへのささやかな気持ちを伝えたい」など、ブロードウェイの思い出やコンサートに参加した思いを披露。復興への願いと感謝の気持ちを込めて、声を合わせて「サンキュー・ブロードウェイ!」コンサート

そこの、日本のミュージカル界で活躍しているアーティスト16人が3月25・26日に青山劇場に集い、ブロードウェイの復興を願ってチャリティコンサート「THANK YOU BROADWAY! ~WE LOVE N.Y.~」を開きました。主催は産経新聞社とニッポン放送。開場以来多数のミュージカル公演を行っている青山劇場も共催。収益はブロード



- AGAPE store vol.5「地球八景音者 越〜じごくはつけいもうじゃのたむれ〜」
マ6月19~25日マ4,500円(当日4,800円) (開) 03-5738-0637
- 第18回(東京の夏)音楽祭2002 (こどものための音楽物語)ハイティンとコンサートに行く!
マ7月13日マ3,500円 ※未就学児童入場不可 (開) 03-3400-5999